

MCS ハートフル A 株式会社さいたまセンター
第 5 回 第三者委員報告会 議事抄録



開催日時 令和元年 12 月 17 日火曜日

開催場所 MCS ハートフル A 会議室

参加者 富田文子委員、渡邊 寛委員、小松 充メディカル・ケア・サービス株式会社取締役
総務部長、今野雅彦施設長(MCS ハートフル A 代表取締役社長)、横島 昇(MCS ハ
ートフル A 総務グループ課長)、以上 5 名

※阿部和正委員については、11 月 28 日 (木) に報告を行った。

式次第

1.開会挨拶 小松 充 MCS 取締役総務部長



- ・ 昨年の 9 月に学研グループにグループインして、大きな体制の変更等はないものの、学研グループ内において双方の良いところを活かしながら様々な部分において連携が進み、シナジーを生み出すための体制が整いつつある。
- ・ 前期 (2018.9~2019.8 /20 期) はグループホームの開設がなかったが、今期以降 2 年間で 20 棟の目標を掲げている。約 350 人の人員増加が見込まれる中で、障害者の雇用も進めていかなければならない。学研グループ全体としても同様のことは言えるので、障害者雇用の面でも連携を深めながら、雇用率を維持することはもちろんのこと、さらに質の高い雇用を目指していってもらいたい。
- ・ 今後、MCS ハートフル、MCS ハートフル A に対する期待はますます大きくなることは間違いないので、私としてもしっかりと支えて参りたいし、第三者委員の皆様方にも引き続き、ご指導を賜りたい。

2.委員挨拶 富田委員



- ・ 前期は、支援員の皆様を対象とした研修の講師もさせていただき、直接支援員の皆様と触れ合うことができ、良い経験ができたと思う。
- ・ 日々奮闘している支援員の皆様の少しでもお役に立てたのであればうれしく思うと同時に、第三者委員としてもしっかりと取り組んでまいりたい。

渡邊委員



- ・ 先日の 9 周年のイベントに参加させていただき、洗車隊の皆さんに自分の車をきれいにさせていただき、感謝している。
- ・ イベントの中で、親亡き後の将来についての不安の相談を数件受けたが、時間を大幅に超過して、横島さんからご連絡もいただいたが、やはり親御さんの将来に対する不安は相当のものであるし、そのような場面に立ち合わせてもらい、感謝している。

- ・ また、先日は、大学母校でのシンポジウムに今野社長がパネリストで参加するというので、休日であったが参加させていただいた。久しぶりに見る母校の発展ぶりに大変感激したと同時に、今野社長と楽天ソシオビジネス川島社長の双方の思いのこもった話に感激した。明日は、ボウリング大会にも初めて参加させていただくが、楽しみにしている。

3.報告事項



- ・ 今野から、資料に基づいて、MCS ハートフル A の第 3 期(平成 30 年 9 月～平成 31 年 8 月)の決算 (8 月期) を踏まえた事業報告、収支報告を含めて、就労継続支援 A 型事業所としての活動内容(サービス内容、訓練の様子、その他)及び苦情・相談内容について、詳しく説明した。
更に、昨年 9 月に学研ホールディングスグループの一員になったことを踏まえて、同グループとの連携の様子や MCS グループの障害者雇用の状況、就労継続支援 A 型事業所を取り巻く現状についても報告した。
- ・ また、10 月 12 日 (土) から開催予定であった全国障害者スポーツ大会が台風 19 号の影響で中止となったことから、埼玉県代表として選出されていた弊社の U.T.さんが「幻の埼玉県代表」となったこと等を報告した。
- ・ 前回の報告会において、阿部委員より敷地内禁煙についてのご提言があったことに対して、その後の取り組みを報告した。

4.質疑応答



- ・ 各委員からは、台風被害について、相談の内容について、敷地内禁煙の進捗について質問があった。
 - ・ 台風 15 号、19 号と大きな台風が上陸してきたが、特に 19 号の被害はどうであったか。
- 幸い弊社の社員・利用者について大きな被害を受けたものはなかった。社屋、車両等にも全く被害はなかった。ただし、影響で茨城県で開催予定であった全国障害者スポーツ大会が中止となったことで、埼玉県の代表選手に選ばれた U.T.さんが、出発直前の選手団結団式の中でボウリング種目の中止が伝えられ、そのまま引き返した。現地に到着してから中止を伝えられた種目もあると聞いているので、事前にストップされてむしろ良かったと思う。私も、現地に応援に行くつもりで準備していたが、生方さんからの連絡で事なきを得た。ホテルのキャンセルも、無料でできてよかった。
- ・ 相談内容について、人に関するものはどのくらいあるのか。
- 相談件数の大半は、同僚のパートナー同士の意思疎通からくる問題だ。なかなかそれぞれの思いを伝えられないケースが多く、誤解や曲解が相互不信につながっている。支援員に対する不満などは、今のところさほど上がってはいない。

- ・ 敷地内禁煙の進捗はどのようなか。
- 前回の第三者委員報告会の直後から安全衛生委員会を中心に対策を協議して、一定のルールを決めて対応している。(別紙資料) 一気に敷地内禁煙ということは様々な状況を考慮して難しいものを感じているが、喫煙者の意識を変える努力をしていかないといけない。例えば、阿部委員に研修会でお話しただくなど、正しい知識を伝えて、意識啓蒙をしないと、一気に禁煙ということにはならないと感じる。
- また、禁煙をサポートする社内制度なども同時に検討しなければならないのではないかと考える。

5.まとめ・感想

阿部委員

- ・ 報告を聞くたびに進展があり、就労継続支援 A 型事業所として、立派に役割を果たしていると思う。
- ・ 敷地内禁煙については、現状に甘んじることなく、最終目標に向かって努力してほしい。私も、機会をいただければ、最新の情報をもとに皆様にお伝えさせてもらいたい。今や喫煙は百害あって一利なし。喫煙後 30 分間は吐息に有害物質が含まれているので、喫煙した人が直ぐに自席に戻ると、30 分間は有害物質をまき散らしていることになりかねないとまで言われている。この現状を MCS ハートフル・MCS ハートフル A の皆さんに是非お伝えしたい。

渡邊委員

- ・ MCS ハートフル・MCS ハートフル A の行事に参加して、非常に意識は高まったし、明日のボウリング大会も期待している。こうした、障害者雇用・就労というのは、想いが大切だと実感している。

富田委員

- ・ 就労継続支援 A 型事業所として、施設外就労を中心にサービス提供も十分されている。
- ・ ただし、無理をさせるということではないが、一人ひとりが成長できる仕事量や内容を考慮しながら、それに対応した賃金等についても、引き続き検討いただき、成長と幸福に向かっていってほしい。

以 上